

ライフイノベーションWG 検討の視点（案）

ライフイノベーション分野の規制・制度改革の検討にあたり、当ワーキンググループでは、安全・安心と国民の利便性の向上、その結果としての我が国経済の成長を両立させる観点から、今後の医療・介護・保育のあり方として、以下の方向性を目指すべきと考える。個別の規制・制度のあり方に関しては、こうした大きな方向性の下に判断されるべきである。

大胆なパラダイムシフトを促すべき

- ✓ 供給者目線から消費者目線へ ～患者・利用者の選択確保～
 - （例）一般用医薬品販売の規制緩和
 - （例）介護総量規制の緩和
 - （例）特養への民間参入促進（施設等サービス類型の再定義）
 - （例）子ども子育てサービスへの多様な事業主体の参入促進
- ✓ 中央集権から地域主権へ ～地域の事情に合致した制度の推進～
 - （例）地域医療計画のあり方の検討
 - （例）医療機関の事業継承、再編の円滑化
 - （例）有料老人ホーム等の短期利用の解禁
- ✓ 事前規制から事後チェック行政へ
 - （例）医療の実用化促進のための医療機関の選定制度等整備
 - （例）介護サービスにおける人員・設備基準の見直し

開かれた医療を実現すべき

- ✓ 透明性の高い医療・介護へ
 - （例）情報公表制度等の見直し
 - （例）保険者の機能強化

- ✓ グローバリゼーションの促進
 - (例) 外国人患者及び医療従事者に係る制度整備
 - (例) 医薬品、医療機器等開発・審査における国際標準化
 - ✓ 個別化医療の推進
 - (例) 感染症・急性期を前提とした医療からの転換
- 産業としての競争力を強化し、付加価値を向上すべき
- ✓ イノベーションによる国際競争力の強化
 - (例) 臨床研究・治験に関連する環境整備と審査の迅速化
 - ✓ 事業者の創意工夫によるサービス提供
 - (例) 医療機関及び医薬品・医療機器に係る広告規制の緩和
 - (例) 混合介護の推進
 - (例) 駅周辺施設における建築基準の緩和
 - ✓ 協働・連携・自律による医療・介護の推進
 - (例) 専門職の業務拡大とチーム医療の推進

注：上記、（例）は検討の視点を議論するにあたっての例示であり、WGにおける重点検討項目を示すものではない。